

Y-PORTセンターの取組状況について

1 概要

(1) 発足日

平成 27 年 5 月 25 日

(2) 構成団体

- 横浜アーバン・スマート・ソリューション・アライアンス

アムコン株式会社

上野グリーンソリューションズ株式会社

カーボンフリーコンサルティング株式会社

水道テクニカルサービス株式会社

萬世リサイクルシステムズ株式会社

株式会社インターアクション

株式会社オオスミ

株式会社シーティーシー

株式会社ファイテック

株式会社ユニメーションシステム

- 日揮株式会社

- J F E エンジニアリング株式会社

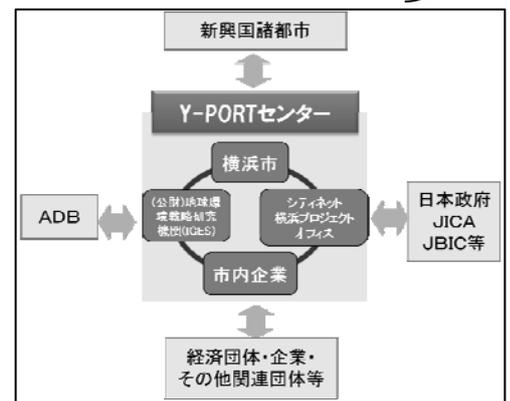
- 千代田化工建設株式会社

- 株式会社日立製作所

- 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

- シティネット横浜プロジェクトオフィス

- 横浜市



(3) 目的

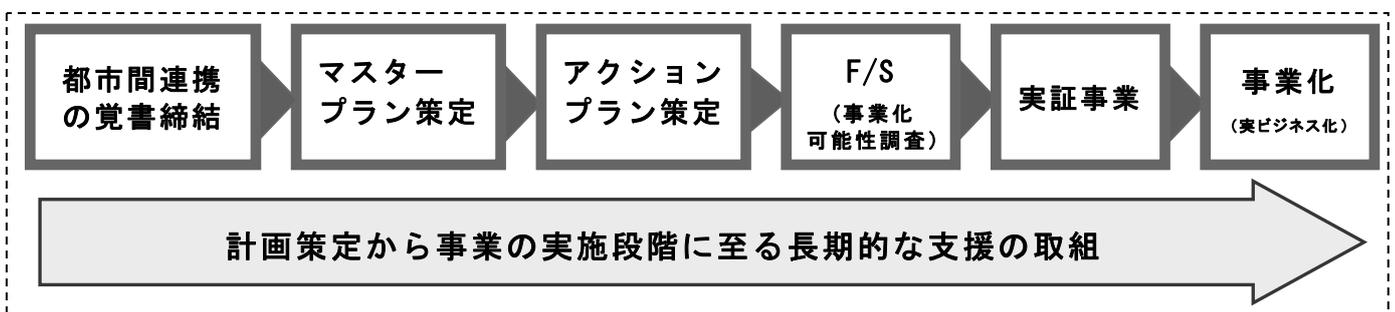
各構成団体が情報や知見、技術を共有し、以下の実現を目指します。

ア 新興国諸都市の需要を把握するとともに、市内企業の技術の紹介やビジネスマッチングを行い、市内企業のビジネス獲得の機会を高める。

イ 都市間の提携関係を基に、(独)国際協力機構(JICA)等の支援機関と連携し、都市のマスタープラン等の策定支援や、インフラ整備を通じた新興国諸都市の課題解決を図る。

ウ JICA や国等の調査事業の獲得を進めるとともに、それらの案件から実事業への発展を目指す。

【参考：都市間連携に基づく長期的な支援の流れ (イメージ)】



2 取組状況

(1) ビジネスマッチング

ア 国内での実施

- (ア) バタム市長によるバタム市の現状やニーズの紹介、環境省による調査事業の説明、企業との交流を実施（5月25日：共創Y-PORTワーキング）
- (イ) ダナン市人民委員会副委員長一行による排水や廃棄物分野におけるダナン市の現状の説明、市内企業による先進技術の紹介、企業との交流を実施（8月31日：共創Y-PORTワーキング）
- (ウ) ダナン市・JICA・横浜市が主催するフォーラムにおいて、ダナン市都市開発アクションプランの情報収集、企業とダナン市高官の意見交換を実施（8月31日：ダナン都市開発フォーラム）

イ 海外での実施

- (ア) ダナン市・JICA・横浜市が主催するフォーラムにおいて、ダナン市都市開発アクションプランの情報収集、企業とダナン市高官の意見交換を実施（5月13～14日：ダナン都市開発フォーラム）
- (イ) 温室効果ガス削減に向けた二国間クレジット制度（JCM）の環境省の調査事業の一環として技術ミッションを現地に派遣。
（バンコク都：7月13～15日、バタム市：8月18～20日）

(2) 勉強会の開催

国の補助事業やJCMを活用した実事業の獲得、現地事業を事例とした意見交換、海外都市高官とのネットワークの構築等をテーマとした勉強会を実施。また、セブ州知事によるセブ州の現状・ニーズの説明及び構成企業との交流等を実施。

(3) その他プロモーション活動

ア 新興国諸都市からの視察受入

イ 国際会議やウェブサイト等を通じたY-PORTのPR

ウ アジア・スマートシティ会議を通じた取組

アジア新興国諸都市のニーズ把握、市内企業の技術の紹介（10月20日予定）

3 これまでの成果

環境省の平成27年度JCM案件形成可能性調査事業に5件が採択されました。

	対象都市	分野	提案者
1	バタム	低炭素都市づくり	3(2)
2	バタム	省エネ、再エネ、下水	6(4)
3	ダナン	省エネ、再エネ	4(3)
4	ベンガルール	廃棄物処理、リサイクル	5(4)
5	バンコク	ESCO、廃棄物、下水、低炭素都市づくり	5(3)

※カッコ内はY-PORTセンター構成員

※JCM：二国間クレジット制度

海外における温室効果ガス削減への日本の貢献を評価する二国間の新たな制度。日本からの貢献を定量的に適切に評価し、日本の排出削減目標の達成に活用するもので、環境省や経済産業省が、JCM事業に取り組む日本企業に対して補助事業等を展開中。

【参考：覚書締結都市及び調査事業対象都市 位置図】

